

母校県立座間高校全校生に対し防災について講演



自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻1等陸尉）は、4月9日（火）、神奈川県立座間高等学校（座間市入谷西）において、同校の生徒と教諭のほか、近隣小学校の教諭等の約850名に対し、防災に関する講演を実施した。

講師は防衛装備庁プロジェクト管理総括官（海上担当）の佐々木海将補で、近年、座間高校が防災教育に力を注いでいることを受け、相模原地域事務所が同校出身の佐々木海将補に講演を依頼して実現したものである。

講演では、「東日本大震災と熊本地震での災害派遣の経験」、「普段から備えるべきこと」、「災害が起こりそうになった時や起こった際に必要な行動」、「メディアからの情報では得られない自衛隊の活動状況」などについて、多くの写真等を使って具体的に分かりやすく説明した。

特に、携帯電話を使用し、自宅や通学経路をハザードマップの上に表示して危険な場所等を認識させる実演などは好評だった。

講演終了後の質疑応答では、生徒たちから「非常食について」、「自衛官になって大変だったこと」等、防災や自衛隊に関する質問が活発に出て、校長の富澤先生からも「貴重な話を聞くことができ、非常に勉強になった」、「次回もお願いしたい」と言っていた。

相模原地域事務所は、「今後も学校との連携を強化し、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。